

上海友好都市 50 周年記念事業について

1 実施にあたっての考え

令和5（2023）年は、昭和48（1973）年11月に横浜と上海が友好都市を提携して以来、50周年にあたります。

これまでの交流を振り返り、両市の絆を確認するとともに、次世代を中心とした持続的な交流を促進し、市民団体と連携し文化交流等のイベントを予定しています。

2 友好都市提携の経緯

横浜市と上海市は古くから国際航路で結ばれており、昭和41（1966）年の横浜市高校選抜サッカーチーム一行の訪中など様々な交流が行われてきました。昭和47（1972）年の日中国交正常化を機に交流の機運はさらに高まり、昭和48（1973）年11月30日、両市は友好都市提携を宣言しました。これにより、横浜市は上海市にとって初めての海外友好都市となりました。その後、横浜上海友好委員会、日中友好横浜市会議員連盟等が設立され、様々な友好交流が重ねられて来ました。

3 記念事業の概要

横浜・上海両市の「高校生のオンライン交流プログラム」や、中国文化紹介等の「交流イベント」、市立中学校での上海にゆかりのある「給食メニュー」の提供、中央図書館における上海図書館との「交換図書等の展示」など、両市の若い世代の持続的な交流を中心とした様々な取組を本市では企画しており、更に幅広い交流が行われるように、市民団体等と連携してまいります。

* すでに実施した取組

5月3日 「ザよこはまパレード」友好都市提携50周年PR
(横浜上海友好委員会)

5月18日 上海市人民对外友好協会(※)代表団の副市長表敬
(※)上海市人民政府の外郭機関で、海外との民間交流を担当



4 機運醸成

- ・ロゴ・記念ポスター、チラシ作成（公共スペースへの掲出、イベントでの配布等）
- ・市ウェブサイトにて、特設ページを開設

特設ページ二次元バーコード



【横浜側掲出イメージ】



【ロゴ】



【上海側掲出イメージ】